



落一地域センターだより No.83

こんにちは 落合

令和3年 秋冬号



OCHIAI

編集・発行＊落合第一地域センター管理運営委員会広報部 ☎ 161-0033 新宿区下落合 4-6-7 ☎ 3954-1611

少しずつ動き出した

落一地域センター

コロナの影響により約2年間休館や時短、そしてワクチン接種会場となるなど利用制限されていましたが、緊急事態宣言の解除に伴い、様子を見ながらも動き始めた様子をお知らせします。

健康体操

11月28日(日)地域センター3階保健センター講堂にて、健康体操教室が開催されました。

講師には、新宿区スポーツ推進委員の金子和子さんをお願いし、コロナ禍で運動不足になってしまった体を、楽しく無理をせず動かすということを教えて頂きました。

軽いテンポの曲が流れる中、金子さんのゆったりとした動きを見ながら体を動かしていきます。



参加されたみなさん真剣です

自分では日常生活ではかなり動いているからと自負していましたが、いざ動き始めると、体は正直なようで太股・わき腹・背中等に痛みを感じ、息切れまでしてきた自分の体に愕然としてしまいました。

また、休憩時間には栄養士の中村良枝さん(企画部)による栄養学から見たお話もありました。中村さんによると、筋肉と脳には相関関係があり笑うことで刺激されます。脳は楽しく前向きに思考することで、体も前向きに活動するそうです。

生活の中で少しでも体を伸ばしてみる、歩幅を少し大きくするなどを心がけ、バランス取れた食事を取り、笑顔を忘れず暮らしていこうと思います。

寄せ植え講習会

今年度の第2弾の行事は、寄せ植え講習会です。

残念ながら12月18日(土)に行われるため今回の「こんにちは落合」に

は、印刷の都合上、当日の様子はお届けできませんが、たくさんの方から申し込みがあり、初日で満員御礼となりました。

きつと素晴らしい寄せ植えが、お部屋や玄関先を飾ることと確信しております。



センターまつり

「ビバ!おちあい」

例年地域の皆様が大変楽しみにして下さっている、「センターまつり」も新型コロナウイルスの影響で2年間開催することが出来ませんでした。

この約2か月間は感染者数も少なく終息するかのように思われましたが、感染力の強い?と云われているオミクロン株の出現で、先の見えない状況のようになってきています。

地域センター4階が3回目のワクチン接種の会場となる予定ということもあり、使用制限が掛かってきます。

地域センター管理運営委員会では現在、密を避けるような形にすれば開催できるか、これからの状況を加味して委員一同で検討して参りたいと思っています。

運営委員会だより

今年度第3弾の行事日程が決まりました。



【日時】

1月22日(土)

13時30分開場 14時開演

話し手

二ツ目 柳亭市弥



当日、センター4階はコロナワクチン接種の会場となるため、3階の集会室での開催となります。

入場者数にも制限があるかと思いますが、皆様で感染対策を施し、新年早々の初笑いにしたいと思います。なお、コロナウイルス感染等の状況によつては中止となる場合もありますので、その際は町会掲示板ポスター等でお知らせいたします。

〈問合せ〉センター事務局

03(3954)1611

地域のお知らせ

コロナ禍において、工夫をこらして開催された町会行事をご紹介します。

お化け屋敷

8月28日(土) 下落合地域交流館で、下落合東町会夏恒例の行事「お化け屋敷」が開催されました。

例年は交流館全体を使って行われますが、コロナ禍にあつて三密を避けるため、1階玄関前のスペースを使って行われました。

子どもたちには、夏休み最後のお楽しみとあつて約180名の親子連れで賑わいました。中には扉に入る前に、友だちとお化けの話で気分を盛り上げている子、お母さんの首をしつかりと抱き今にも泣きそうな可愛い幼児もいましたが、お土産を貰つて帰っていききました。

町会役員の方は、この時期の開催にはご苦労もあつたかと思いますが子どもたちの満足そうな様子を見て取材側の一人として拍手を送りたいと思ひました。



お菓子の詰合せ配るぞ！

上落合東部町会では、毎年祭礼の際に「お菓子の詰合せ」を配布していましたが、中止の連絡を受けて町会長より「配布だけでも行おう！」との号令で、9月4日(土)に上落合東部町会会館にて開催致しました。

当日は30分以上前からの来場があり密にならないよう早めに配布を行い、来場者は児童を含め238名の大盛況でした。また、前日に青壮年部が神輿の組み立てを行い配布に一花咲かせていました。

消毒↓検温↓お菓子の詰合せ配布↓神輿の前での記念撮影と緊張感がありました。久しぶりのイベントで児童、町会員全てが楽しい地域コミュニティの場になっていて、大成功したイベントだったと思います。



下落合公園納涼まつり

緊急事態宣言下の9月19日(日)に、下落合公園にて下落合四丁目町会主催の納涼まつりが開催されました。

毎年多くの子供たちが楽しみにしているお祭りや盆踊り大会は、昨年からは続くコロナの影響により軒並み中止を余儀なくされております。その様な状況下において少しでも地域の子供たちの笑顔を取り戻したいとの思いから、公園への一方通行入場、来場者記名、検温、ソーシャルディスタンス、消毒、飲食禁止等の感染対策をしっかりと施した上で、多くの皆様にご来場頂きました。

景品盛り沢山の輪投げ、自分で描いた絵で作るオリジナル缶バッジ、カラフルで色鮮やかなブンブンゴマ作りによつて、久しぶりに笑顔の絶えない楽しい地域イベントとなりました。



太鼓の演奏披露

盆踊りは中止となり

りましたが、下落合町会知久会では昨年に引き続き、8月1日(日)町会内の高齢者施設リアンレーブ高田馬場、ソナール目白御留山の敷地内、下落合図書館前のシミズオクト駐車場にて、太鼓の演奏を披露しました。当日はたいへん暑く、コロナ禍でもあり、建物内で演奏を見ていただきました。シミズオクト駐車場では下落合図書館のベンチや近隣建物のベランダから、東京音頭や炭坑節など盆踊りの曲に、たくさんの方の拍手、手拍子をいただきました。汗をたくさんかきましたが、日ごろの練習の成果を発表でき、すがすがしい一日となりました。



親子で防災訓練

中落合三丁目やよい町会では、今年3月にリニューアルオープンした

「やよい公園」において9月初めに計画された防災訓練でしたが、二度の緊急事態宣言により延期を余儀なくされましたが、10月9日(土)によりやく開催できました。

感染症対策として、人数制限を行いながら、10時より3回に分けて受



付し、新宿消防署落合出張所と新宿消防団第11分団のご協力をいただき実施されました。

道路に設置のスタンドパイプに接続された消火ホースを使って、ブロック塀に向けて参加者は一人ずつ放水を体験しました。参加された方はすごい水圧にビックリ！参加した子どもたちは「虹が出たー」と言って大喜び、当日は10月というのに汗ばむ一日となりました。

歳時記

秋

秋は多彩である。芸術の秋・味覚の秋・行楽の秋・読書の秋・実りの秋・スポーツの秋など、しかし台風シーズンの秋は御免蒙りたい。時候の挨拶で、『天高く馬肥ゆる秋』は現代では「空が高く感じられるほどに澄み渡り、馬も肥えるような収穫の秋」として使われている。その語源は古代中国の漢の時代、北方の騎馬民族が秋になると肥えてたくましくなった馬に乗って略奪に来るから気を付けよ、という警告文だったのである。元になった言葉は、詩人「杜審言」が書いた「棘味道に贈る」という詩の一節に、『雲浄くして妖星落ち秋高くとて塞馬肥ゆ』とある。妖星とは不吉なことを意味し、塞馬とは北方の馬のことをいう。当時の漢の將軍「趙充国」がこの詩の一節を警告文として用いたと言われている。

秋は感傷的にもなる。松尾芭蕉が大阪の知人宅で、病に臥せている時詠んだとされる句『秋深き隣は何をする人ぞ』。これは隣家の物音を聞いて、どんな人が何をしているのだろうかと思案している様子をいう。芭蕉にとって最後の作品となり、その半年後51歳で亡くなっている。

(1694年10月)

秋は左党にとっても美味しい季節である。若山牧水は『白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒はしづかに飲むべかりけり』と歌っている。秋の夜長、皆で楽しく飲む酒もよいが一人静かにゆっくりと酒を味わうのも格別である。白玉とは団子のことでなく、歯の形容で枕詞に近い語と言われているが諸説あって、酒の名あるいは酒そのものを指している説もある。牧水は無類の酒好きで一日一升飲んだといわれ、そのため肝硬変を患い43歳の若さで亡くなっている。(1928年9月)





何も売ってくれない 職業ってなーんだ？

答えは「占い師」です。バカにするなどの声が聞こえてきますが・・・あなたは占いを信じますか？

博報堂生活総合研究所「生活定点」調査によれば、占い、おみくじを信じる人の割合は、32.5%（2020年）だそうです。信じ方の程度にもよりますが、男性よりも女性、年配よりも若い人が信じる割合は大きいようです。同年調べで、20代の女性では66.3%。もう2人に1人以上となります。

◆定番は星座占い

皆さんに一番なじみがあるのは、星座占いではないでしょうか？ テレビでも雑誌でも、星占いのコーナーがあります。

星占いのもとは、4000年前、メソポタミアの占星術にさかのぼります。「昔の人は、地震や洪水がなぜ起こるのかわかりませんでした。しかし、わけもなく起こるのではなく、原因や理由があるはずだと考え、それを占いで知ろうとしたのです。」（占い大研究から引用）



◆占いはたくさんの種類、ブームも

●日本で戦後に起こった占いブーム

ブーム	年
易占ブーム	1962年ごろ
姓名判断ブーム	1967年ごろ
血液型占いブーム	1971年ごろ
こっくりさんブーム	1974年ごろ
タロットカード占いブーム	1974年ごろ
天中殺ブーム	1979年ごろ
占星術ブーム	1985年ごろ
動物占いブーム	1999年ごろ
陰陽師ブーム	2001年ごろ
手相術ブーム	2010年ごろ

占い大研究 (PHP研究所) 2012.7.25



◆コロナ禍で、

タロットカードがブーム

コロナの影響によって、「タロット関連アイテム」の売り上げが非常に伸びています。「前年比で3倍の売れ行き」（タロットカード販売会社）「タロット関連の書籍が相次いで重版している」（大手出版社）などの声が寄せられています。ステイホームを強いられる状況下で、家でもできる趣味として、そして先の見えない状況下で未来を占う術として、タロットを手にする人が増えています。2020年9月20日付 (PR TIMES ニュースリリース配信サービ)

◆血液型占いは日本独自

血液型は、相性や細かな性格の分類に使われることが日常的にもありますが日本で1930年ごろに（教育学者、古川竹二の「血液型気質相関説」1932年により）誕生した占いです。1971年ごろ、能見正比古による「血液型人間学」でブームとなり、テレビや書籍が取り上げました。しかしながら、現在は、科学的根拠はなく、血液型に基づいて人物を判断することが、先入観や偏見につながるとされています。

BPO（放送倫理・番組向上機構）は2004年に、「血液型によって人間の性格が規定されるという見方を助長することのないよう要望する」との声明を発表。それ以降は取り上げられることが減少しました。ちなみに、日本人の血液型は、多い順にA型（約40%）、O型（約30%）、B型（約20%）、AB型（約10%）となっています。

「O型はおおらか」
「A型はまじめで几帳面」
「B型はマイペース」
「AB型は個性的」



さて、占いについて考えてきましたが、結論からいうと占いとは・・・

◆占いは、「優柔不断な人が決断するために使う人生の攻略本」

占いで有名なゲッターズ飯田さんが「占いは「ロジック」があるから当たるんです。特殊能力なんかじゃない。手品みたいなもので、台本があれば誰でもできます。なんなら売ってますから、台本」：。占いは、道具。占いに振り回されるのではなく、利用するもの。人生を後押しするもの。と雑誌で語っています。

◆ポストコロナ（コロナ禍以降）のあなたは？

年明けに、神社やお寺で引く「おみくじ」も占いの一つです。「神々の声を『見える化』したもの」「偶然を利用した『神からのお告げ』」ですが、偶然は単なる偶然ではなくて、占いの本質でないでしょうか？最後に、2022年がみなさまにとって、健康で幸せな一年となりますように、ご祈念いたします。



参考

- ・「占い大研究」なぜ人を引きつけるの？占星術からおみくじまで」PHP研究所
- ・「生活定点」調査 博報堂生活総合研究所
- ・「ニッポンのおみくじ」グラフィック社